



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 富澤 藤利
幹事 岩元 義春
SAA 吉野 文敏
会報小委員長 浜津 真也

○例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9
○例会場 ホテルミドリ TEL0246-62-3737

人類に奉仕するロータリー

第 2690 回 例会 平成 29 年 5 月 10 日(水・曇)

2016～2017 年国際ロータリーのテーマ

ゲスト

千葉大学 名誉教授 河原田 秀夫 様

◎会長報告－富澤藤利会長



皆さん、今日は。本日は5月に入り最初の例会であり、理事会では新入会員の最終審査を行います。当クラブでは3月に金成通之会員、4月には吉野文敏会員がそれぞれ病気の為御逝去されるという事態に遭遇してしまいました。お二人は文字通り当クラブの重鎮の会員であり、まだまだ多くのご指導を戴きたかったと思っております。ご本人もやり残した事もあったであろうと思えます。残されました会員一同この事を一人一人の肝に銘じて今後のロータリー活動を精力的に実践して行きたいと思えます。それでは本日のお客様をご紹介します。渡邊公平バスター御推薦の千葉大学名誉教授であります河原田秀夫様です。後程ご紹介と卓話をお願い致しますので宜しくお願いします。私からは以上です。

◎新入会員紹介－斉藤隆会員

皆さん、今日は。私の方から新入会員の紹介をしたいと思えます。お名前は久野裕紀様、血液型はA、生年月日は昭和49年5月2日で42歳です。住所は金山町です。ご家族はお父さんとお母さんと3人暮らしで自宅と事務所を併設しております。平成24年5月久野行政書士事務所を開設し現在に至っております。どうぞ宜しくお願いします。

◎新入会員挨拶－久野裕紀新入会員



皆さん、今日は。私は金山町で行政書士の事務所を開いております久野裕紀と申します。只今ご紹介戴きましたが震災の翌年平成24年に思う所があり、サラリーマンから独立し今の事務所を開業致しました。まだまだ若輩者ですがロータリークラブさんに入会させて戴きましてご指導ご鞭撻戴ければと思っておりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

君が代

ロータリーの目的 富澤 藤利会長

－今月は青少年奉仕月間です－

◎幹事報告－小熊東副幹事



・国際ロータリーより日本のロータリー100年委員会設立の文書が届いております。
・校友会設立20周年記念事業開催のご案内並びにお願いの文書が届いております。
・インターアクトクラブ連絡協議会顧問教師会の開催要項が届いております。
・勿来ひと、まち、未来会議より平成29年臨時総会のご案内が来ています。
・勿来夏まつり実行委員会より協賛のお願いの文書が届いております。
・いわき市社会福祉協議会勿来地区協議会福祉推進委員会推薦について文書が届いております。
・勿来授産所より会費納入の御礼文書が来ています。
・椿山荘ワシントンホテルでの15周年記念イベントのご案内チラシが届いております。全ての文書は現在回覧中ですのでご一読下さい。

◎各委員会報告

◇出席委員会－押田小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会－富岡小委員長



・千葉大学名誉教授河原田秀夫様の来訪と卓話を歓迎して。富岡、鈴木(雅)、木幡、後藤、渡邊(公)、高木、山下、関川、高萩、赤津(善)、川口、橋本、鈴木敏、荒川(清)、星、鈴木(修)、嵐、林各会員及び富澤会長、鈴木副会長、佐藤政司会長エレクト、小熊副幹事
・誕生祝ありがとうございました。 清水会員
・本日から新入会員として入会させて戴きます。 久野裕紀会員
・新入会員の久野裕紀様を歓迎して。渡邊(國)、斉藤、渡邊(公)、川口、越田和、矢代各会員

・前回欠席ごめんなさい。 田子、橋本、根本各会員

◇親睦活動委員会－高萩小委員長

6月4日に会長杯ゴルフコンペが開催されます。只今集計中ですが出欠の返事を頂戴していない会員がいますので早目にお返事を下さい。ゴルフはやらないが夜の会だけ参加も歓迎致します。5月第一週目ですので誕生者へ誕生祝を差し上げたいと思いましたが欠席されておりますので次週にお渡し致します。

◎ゲスト卓話者紹介－渡邊公平会員



本日のゲストスピーカーの河原田秀夫さんをご紹介します。

◎ゲスト卓話 千葉大学 名誉教授



河原田 秀夫 様
教養がより「実践的な教養」に変容するか
☆教養の定義(出典 フリー百科事典「Wikipedia」)
*一般に、独立した人間が持っているべきと考えられる一定レベルの様々な分野にわたる知識や常識と、古典文学と芸術など質の高い文化に対する幅広い造詣が、品位や人格および、物事に対する理解力や創造性に結びついている状態を指す。

*ピースミール(少しずつ)に問題を解決する決定的な能力。

*もっと具体的に言うと「生活の交通整理をするための“自分らしさ”のこと」。

*言い換えれば“教養とは問題解決能力である”

☆3・11(東日本大震災)における私の経験

*避難所における出来事に対する理解。

*互酬性の規範：個人あるいは集団間で、贈与を受けた側が与えた側に何らかの返礼をすることによって、相互関係が更新・持続されること。

*社会関係資本：ある人間にとって家族、友人達、仕事仲間が一つの重要な資産を形成する。つまり、困った時に頼りに出来、それ自体として楽しむことが出来、利益を上げるために役立てることが出来る資産を形成する、という事である。

*相の変化(具体例としては水から氷、水から水蒸気へ)を記述する数学モデル例え Landau-Ginzburg 理論を用いて人間の行動規範を理解する。

*社会における人間の運動学の解析が人間社会のより深い認識・理解に繋がるのではないかと。

☆高いリスクを有する人々に対する融資(河原田秀夫 地域経済研究会 主催いわき信用組合)

*貸付先の信用状況を判断し、それに見合った条件で融資を行うのは、金融機関にとって最も重要な仕事である。

*ある種の金融機関はリスクが高い相手、所謂ブラックリストに記載されている人々には、記載されているという理由のみで自動的に融資を拒否している。

*それらの人々に対して融資(主として小口金融、ローン等)を実施し、成功している地方金融機関(いわき信用組合)がある。成功しているとの意は債務不履行の確率が非常に小さいという意味である。

*“何故、債務不履行が生じ難いか?”そのメカニ

ズムを社会関係資本を用いて議論し、その数値化を試みる。同時に信用デリバティブの概念を用いて金融機関が社会関係資本から受ける恩恵について理論的分析を行う。

*これらの考察は高いリスク融資に対する対処法とそれに基づく新しいビジネスモデルの構築に寄与する。

☆歴史における知の型の変遷(東大教授 加藤陽子 著 戦争の日本近現代史 講談社現代新書)

*歴史を研究する際に重要なことは、国民や市民のレベルで巨大な認識の変化が起こる際に、それはどのような歴史的経緯と倫理から起こるのかを明確にするという作業である。この点に関して対象を国民や市民でなく、学者たちに限定してこの問題を考えた知識人がいた。ミシェル・フーコーである。ある特定の時期に、ある特定の学問の領域で、急激な認識の変化が起こるのは何故なのかとフーコーは問いかけて18世紀と19世紀の医学書を丹念に比較した。

1750年に出版された医学書は、現代の私たちからすれば、ちんぷんかんぷんで実に滑稽な民俗学の対象です。ところが、その70年後の1820年頃になると、一転して医学書は現代と同じ型の知に属しているように思えます。そして私は次に自分に問いかけたのです「知のある一つの型から知の別の型へ、移行が行われるのにどうしても必要な変換作用とは、どのようなものであったか」と。

☆積極的教養の一つとしての数学の持つ意味(佐藤優 著 牙を研げ 講談社現代新書)

*数学はそれが有する基本的構造から、昔から、思索とコミュニケーションの基礎的な能力の鍛錬の場として重視されてきたことを忘れてはならない。

*数学には数学を利用する側の人、数学の知識を供給する側の人が存在する。

*積極的教養の立場からは、徹底的に数学技法を習得する立場に立つ。それに適応する教科書に西村和雄著「経済数学早わかり」(日本評論社1982)がある。内容は線形代数、行列と行列式、微分と最適化問題、一般最適化、非線形計画問題、微分方程式と安定性、最後に位相数学が入っている。

*良い教科書というのは、数学だけに限らず哲学や文学も同様であるが、この本をどのようにして使ったらいいか、その使い方が書かれている本である。

*いま紹介した本に取り組んでも大丈夫かどうか自信がないという場合にはどうすればよいか。まず講談社ブルーバックから出ている芳澤光雄氏の「新体系・高校数学の教科書」を勉強するのが適当と考えられる。それでも困難な場合は同氏による「新体系・中学数学の教科書」がある。

*積極的教養としてIT情報学や物理学、化学の重要性は論を俟たない。

☆日本再生計画

上記で述べた知性土壌の上にイノベーションの創生する知的鍛錬の場(アメリカのシリコンバレーの様な)が必要である。新しい技術の萌芽に対してそれが機能するためには、有効性再現の検証とその機能メカニズムの科学的解明が必須である。その作業工程には積極的教養が不可欠であることは言うまでもない。これらの事業が日常的に実現した時、(製造業に依存しない)日本の再生が可能になる。

出席状況

正会員数 54名
本日の出席率 78.85%

本日出席会員数 41名